

デジタルリスクを予兆・検知・解決するソリューションを手掛ける(株)エルテス エストニア CYBERNETICA 社と提携

～技術連携による ICT ソリューションの提供に向けた協業を開始～

企業が抱えるデジタルリスクを予兆・検知・解決するソリューションを手掛ける株式会社エルテス（代表取締役：菅原貴弘、東京都千代田区）は、エストニアの CYBERNETICA 社と提携し、協業を開始したことをお知らせします。両社のもつ技術を組み合わせた ICT ソリューションを開発・提供してまいります。



■概要

日本では行政サービス、教育などあらゆる分野において ICT の普及が進まず、世界に遅れをとっていることが問題視されています。政府が主導する「働き方改革」を進めるにあたって ICT を積極的に取り入れることが重要です。

一方で、エストニアは日本のマイナンバー制度のモデルとなった国民 ID 制度を早くから取り入れるなど電子政府化が進んだ ICT 立国であり、学校・政府機関への ICT 機器の普及率は 100%（注1）、ネットバンキング利用率は 99.8%（注2）と高く、税金の申告、会社の登記など様々な行政サービスがオンライン上で処理できます。

CYBERNETICA 社は電子政府の基盤となるシステム“X-Road”での政府機関データベース連携のセキュリティシステムの構築、電子投票ソフトウェアの開発を行うなど、電子政府プロジェクトにおいて優れた実績を保有する ICT 企業です。

エルテスでは従来からテクノロジーの発展に伴い新たに発生するリスクを「デジタルリスク」と定義し、独自技術や他企業とのアライアンスによりソリューションを提供しています。また昨年 12 月には同じエストニアのリアルシステムズ社との協業により不正送金・インサイダー取引などの金融犯罪を始めとする犯罪捜査のためのツールである VizKey の日本での提供を開始しております。

両社の技術・ノウハウを連携することで、日本での ICT ソリューションの開発および普及に向けて取り組んでまいります。

（注1）（注2）出典：エストニア共和国大使館 2014.3.31 会議資料

■CYBERNETICA 社について

ソフトウェアソリューション、無線通信システムの研究・開発を行う ICT 企業です。エストニア政府の基盤システム“X-Road”のプラットフォーム、電子投票ソフトウェアの開発など、電子政府プロジェクトにおいて重要な役割を果たしています。

[会社概要]

社名 : CYBERNETICA AS
代表者 : OLIVER VÄÄRTNÕU (CEO)
所在地 : Mäealuse 2/1, 12618 Tallinn, Estonia
URL : <https://cyber.ee/en/>

■株式会社エルテスについて

リスクに特化したビッグデータ解析を強みに、ソーシャルリスクを中心としたデジタルリスクを検知・解決するソリューションを提供しております。デジタルリスクとは、インターネット上での炎上・情報漏洩・従業員による内部不正・産業スパイ等、企業の競争力にも影響を与える重大なリスクを指し、当社ではそのデジタルリスクを分析する事で、企業が抱える課題を解決するサービスを 300 社以上に提供しています。

[会社概要]

社名 : 株式会社エルテス
代表者 : 代表取締役 菅原貴弘
所在地 : 東京都千代田区霞が関 3 丁目 2 番 5 号
創業 : 2004 年 4 月 28 日
資本金 : 751,078,560 円 (2017 年 2 月 28 日現在。資本金準備金を含みません。)
URL : <https://eltes.co.jp/>
主要外部株主 : 株式会社産業革新機構、株式会社電通、株式会社 NTT ドコモ・ベンチャーズ等
事業内容 : リスク検知に特化したビッグデータ解析によるソリューションの提供